

平成 9 年 8 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会
青梅市郷土資料室
(青梅市駒木町 1-684 Tel.0428-23-6859)

武蔵御嶽神社旧本殿 漆工事工程の詳細

東京都有形文化財武蔵御嶽神社旧本殿の漆工事の工程について、施工業者岸野漆美術工業の工事工程をお伝えする。これには、現場のぬし屋さん（室塗りの作業をする人）、石川進氏、入江力氏、布施照美氏の全面的なご指導を頂いた。

工事工程は 37 段階にのぼる。さらに、脇障子等の彩色工事の工程がこれに加わって、この工事の最終的な全工程は 50 工程を上回るが、今回は、彩色工事の工程を省いた建物の漆工事の工程について報告する。

37 工程は、次のとおりである。

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 叩き及び古研ぎ | 古層を刃物で落す、又はペーパーで荒らす |
| 2 木地整え | サイドペーパー、布ペーパーでザラつきを除去 |
| 3 刻草彫り <small>こくそう</small> | 乾き割れ、はき合わせ溝彫り |
| 4 埋木、矧木 <small>うめき はぎき</small> | 木地の表面の鎖や損傷を補う |
| 5 木地固め又はジル固め | 木地の全面に生漆 <small>きうるし</small> を塗って、染み込ませる |
| 6 ペーパー当て | ペーパーを当て、木地表面のザラつきを除去 |
| 7 飼込刻草 <small>かいこみ</small> | 刻草彫り部分を平らにする |
| 8 刻草揃 | 素地面より肉高の余剰分の刻草を前鉋で削除 |
| 9 地引込 | 刻草揃の部分に下地を付ける |
| 10 同空研ぎ | 引込部分のザラつきを石当てで削除 |
| 11 布下地付 | 全面に平らに下地を付ける |
| 12 同空研ぎ | ザラつきを除去 |
| 13 布張り | 麻布を麦漆で張る |
| 14 布揃 | 布の張合わせなどを平らにする |
| 15 空研ぎ | ザラつきを石当てで削除 |
| 16 布目摺 <small>じしたじ</small> | 全面に、布目中に地下地を摺込 |
| 17 同石当て | ザラつきを除去 |
| 18 地付 | 全面に付ける |
| 19 同空研ぎ | 全面のザラつきを除去 |
| 20 切粉下地付 | 全面に付ける |
| 21 同水研ぎ | 切粉付け面を平らにするため金刻研 <small>こんごうど</small> で研ぐ |
| 22 同切粉固め | 生漆を塗り、切粉漆を補充 |
| 23 ペーパー当て | ペーパーでザラつきを除去 |
| 24 錆付 <small>さびつけ</small> | 全面に付ける |
| 25 同水研ぎ | 中砥、ペーパーで平らにする |

26 錆固め	生漆を塗り、錆漆を補充
27 ペーパー当て	ペーパーでザラつきを除去
28 中塗り	全面に塗る
29 同水研ぎ	朴炭、耐水ペーパーで水研ぎをする
30 追い繕い	塗面の凹部に錆下地を引込み平らにする
31 同水研ぎ	中紙、耐水ペーパーで水研ぎをする
32 追い繕い固め	繕い部分に生漆を塗る
33 ペーパー当て	繕い部分にペーパー当て
34 衣中塗り	2回目の中塗り
35 同水研ぎ	朴炭、耐水ペーパーで水研ぎをする
36 塗前	塗面の塵埃を除去
37 上塗り	

上記の工程を大きくまとめると、次のようになる。

1. たたき工事（工程表の1）

古層を「たたき」という刃物でたたいていく。単純な作業のように思われるが、この作業の善し悪しが仕上がりに大いに影響する。生地を痛めることなく、固い古層を落としていく根気と技術を要する作業である。この作業がしっかり為されていれば、ジル固め（工程5に一部）を必要としない。ジル固めとは、麦漆（生漆+小麦粉+上新粉糊）+地粉（細かな砂を焼いたもの）で、彫り過ぎた生地の傷を補修する作業である。

2. 刻草（工程表の3～10）

刻草とは、前記の麦漆に刻草綿と木地粉（大鋸屑^{おがくず}→固い雑木のもの）を練り混ぜたもので、漆塗り工程の下地を作る作業である。

3. 地付（工程表の11～19）

地付は、次の布張りとは一体の作業で、生漆+地粉+上新粉（糊状）を混合したものを布下地付、布の目、布の上に塗り重ねる。

4. 布張り（工程表の13～15）

布は麻布。前面に麻布を張って、仕上がりの表面を平らにする為の作業である。

5. 切粉（工程表の20～23）

生漆+地粉+砥の粉（水で溶く）+上新粉を混合して、前面に塗る。ここからが、表面を一体のものとしての作業に移る。研ぎも、今までの石当てや空と研ぎから、水研ぎに変わっていく。

6. 錆付け（工程表の24～27）

生漆+砥の粉（水で溶く）+上新粉を錆漆という。仕上げ塗り前の工程で、錆漆で全面を塗る。切粉から地粉を除いた錆付けの作業は、仕上げ塗り全体の滑らかさを直接左右するので、水研ぎのペーパー当てが施される。

7. 中塗り（工程表の28～35）

仕上げ塗り前半の工程。錆漆から、砥の粉、上新粉を除いた生漆（テレピン油で溶く）だけで塗られていく。黒仕上げの場合は、工程34の衣中塗りが施される。黒仕上げはその色が飛びやすいので、それを防ぐ為である。中塗りだけで、8工程を要する。

8. 上塗り

最後の仕上げ塗り。材料は、中塗りと同じく漆のみで行われる。

漆塗りの奥深い光沢は、このような工程の積み重ねの上に出来上がるのである。

（文責 金井）